

拝啓 貴社益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

初めて書面を送らせて頂きます。

私は伊都郡高野町在住の者ですが先日五月十七日山内配達の新聞に高野町議会議員による公弘報が入っておりました。

同封いたしましたのはこちらのコピーでございます。

何とぞ皆さままで御一読の上、和ネット上にて発表して頂き、広く皆様の目に触れて頂き、ご判断を拝ぎたく存じます。

昨日、東京都では舛添知事が辞任の運びとなりましたが、高野町という片田舎におきましては、その様な事にもならず済む様でございます。高野山町議員、下垣内公弘様(高野町富貴地区在住)の、この告発(?)が事実であるか否かは、今後も確かめられるべくもないでしょう。恐らくうやむやのままに、終えられるものと思われます。都会の議会より恐ろしい田舎の議会は、誰にも確かめられる事も無く、責められる事も罪に問われる事も無く、静かに思いのままに、「仲よしの住人」同志のやりとりの間で交わされ、進められます。誰も自分達を裁く者は無いと分かった上での事でございます。スキャンダルを恐れるばかりの世界遺産の「聖地」は、それにしては余りにも堂々と、半ば公然と、事が行われて行きます。

寺院の住職達は、「前科」のある者が増えて行き、もめ事の無い寺院は皆無と言って良いでしょう。昨年十一月頃から、街宣車が度々走る様になりました。

総本山の山内を、数台で走り回ります。持明院と赤松院のスキャンダルを教えてくれました。もう半年以上になります。思えば清浄心院の乗っ取り事件も、金剛三昧院の住職の中国での逮捕歴から始まりました。寺院も議会も、商家も、「こそどろ」の多い「聖地」でございます。「お土地柄」でしょうか。

私個人ではいかんともし難く、お友達(味方)が多ければ、何でも通る、黒も白に変えられる気持の悪い「聖地」です。

和ネットの編集部様はどの様に感じられるでしょうか。

高野山内では、声を上げる者も居りません。

それとも、「この程度の事」でしょうか、何処でも行われている、「普通の事」なのでしょうか。馬鹿な私の様な者は、黙っている間に、何でも自由になる人々は、思いのままに生きています。毎日を楽しく、仲良く、豊かに過ごしています。それを見ていて、「気持が悪い」と思うのは、馬鹿な私位でしょうか。

私はこの一文を、何とかして高野山の外に出てみたいと思い、筆を取りました。皆様もお忙しいとは存じますが、ほんの一時、この一文にお時間を頂ければ幸いに存じます。

敬具